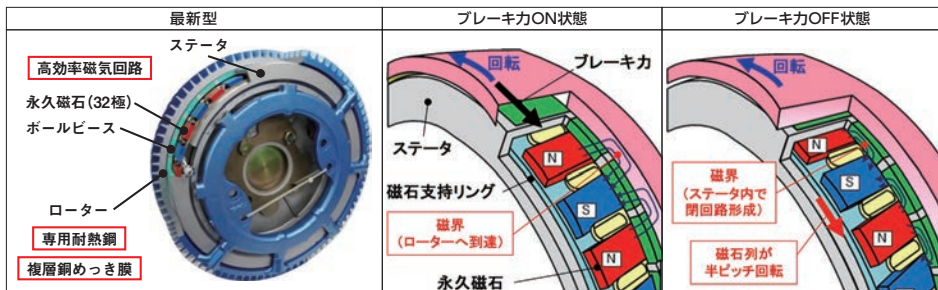
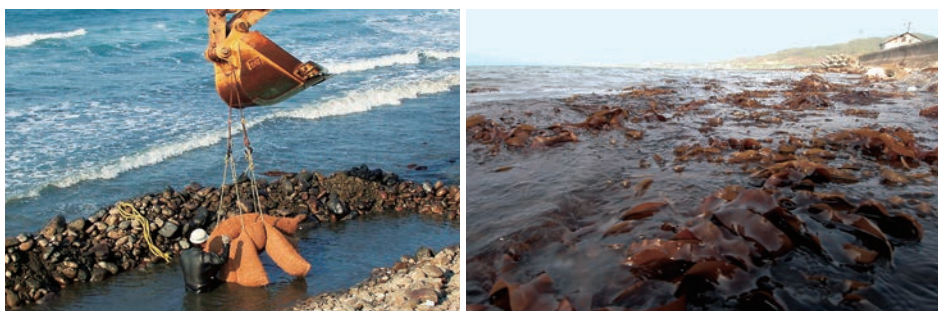


市村賞を2年連続でダブル受賞



最新型リターダの構造およびブレーキON/OFF切替え機構



北海道増毛町での海の森づくり (写真提供: (株) 渋谷潜水工業)

日本製鉄は第52回市村賞において、「市村産業賞 貢献賞」「市村地球環境産業賞 貢献賞」をダブル受賞しました。

市村産業賞を受賞した「高効率・軽量型永久磁石式リターダの開発による大型車両の安全性向上」は、ネオジム磁石を活用した小型、軽量、メンテナンスフリーの世界初の永久磁石式リターダを開発・実用化。ドライバーの運転負荷軽減にも大きく貢献しています。

市村地球環境産業賞を受賞した「鉄鋼スラグによる多様な生態系サービスをもたらす海の森再生技術」では、製鋼スラグと腐植土を活用した海域向けの施肥材(ビバリー® ユニット)による多様な生態系サービスの提供、藻場でのCO₂吸収・固定による地球温暖化抑制に関する技術を開発・実用化しました。

第30回 日本製鉄音楽賞 受賞者発表



特別賞
小林 道夫氏



フレッシュアーティスト賞
大西 宇宙氏

第30回 日本製鉄音楽賞において、フレッシュアーティスト賞にバリトン歌手の大西宇宙氏、特別賞には清里音楽祭を創設し音楽監督を務めている小林道夫氏が選ばれました。

大西氏は本音楽賞初の男性声楽家の受賞者となります。小林氏は、音楽監督のほか音楽アドバイザーからピアニスト、チェンバリストと多岐にわたる分野で活躍されていることが受賞につながりました。

LCA日本フォーラム奨励賞を受賞

日本製鉄は、第16回 LCA日本フォーラム表彰において、「LCA日本フォーラム奨励賞」を受賞しました。

鉄鋼製品は他の軽量素材と比較して製造時の環境負荷が低く、自動車用高強度鋼板(ハイテン)など多くの高機能製品は軽量化などにより使用時の環境負荷を低減できる上に、使い終わったあともそのほぼ全量が再生利用されているなど、LCAの観点で非常に優れた素材です。日本製鉄は、鉄がサステナブルで環境にやさしい製品であることや、ライフサイクル全体で考えることの重要性を子どもから大人まで幅広い世代に知ってもらうため、さまざまな取り組みを行っています。これらの普及・啓発活動が今回の受賞につながりました。



LCA動画を作成、WEBで公開

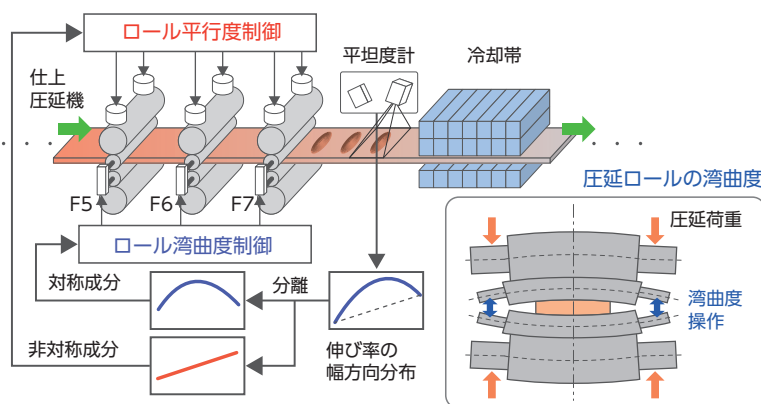


学習漫画を全国小学校や公立図書館へ寄贈



工場見学のノベルティとして、鉄鋼を学べる学習帳を配布

文部科学大臣表彰 科学技術賞を受賞



自動平坦度制御の構成

日本製鉄が開発した、新型高精度平坦度計を用いた高強度熱延鋼板の製造技術が「令和2年度文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門）」を受賞しました。

受賞した製造技術は、熱間圧延中における鋼板の伸び率の幅方向分布（平坦度）を高精度に測定した上で、圧延機を自動制御し、機械特性に優れた薄鋼板を安定的に製造するもの。薄鋼板の熱間圧延において、すべての圧延材を対象に適用できる自動平坦度制御は世界初です。

この技術による平坦形状の改善により、歩留まりが最大で20%向上、冷却温度外れやスリ疵などの形状起因の不良発生は自動制御適用前に比べて約30%減少するなど、品質と生産性の向上が図られました。



サステナブル経営推進機構



メガハイパービーム™

(※1) (※2) エコリーフ環境ラベル。EPD (Environmental Product Declaration)：資源採取から製造、物流、使用、廃棄・リサイクルまでの製品のLCAに資する定量的な環境情報を開示する国際的な認証制度。ISO14025規格で規定されているタイプⅢの環境ラベルで、国際的にはEPDと言われている。

メガハイパービーム™ が環境ラベルを取得

日本製鉄は2020年4月より販売しているメガハイパービーム™で、(一社)サステナブル経営推進機構が認証するエコリーフ環境ラベル(※1)を取得しました。

本製品は、既存のハイパービーム®サイズの2割を超える製品ウェブ高さ1200ミリまでの大断面サイズの外法一定H形鋼で、発売以降は各方面より大きな反響が寄せられています。

エコリーフは、ライフサイクルアセスメント(LCA)手法を用いたEPD(※2)認証制度のひとつで、お客様が使用する製品のライフサイクルでの環境負荷を客観的に評価できる指標となります。日本製鉄は、昨年12月にもH形鋼9製品で同環境ラベルを取得しています。



[FUJIFILM X-Pro3]

Transixii® が富士フィルム製デジタルカメラに初採用

日本製鉄の意匠性チタン「Transixii® (トランティクシー)」が、富士フィルム(株)のミラーレスデジタルカメラ「FUJIFILM X-Pro3」のボディ外装に初採用されました。

本カメラは、チタンの軽量・高強度・高耐食といった素材特性を最大限に活かした優れた機動性・耐久性を実現。また、チタンの持つ美しい色合い・質感を引き出した高級感溢れるデザインに仕上がっています。

チタン使用部分は、ダイヤル部やフロントファインダー窓部など高度な絞り・張り出し加工技術が要求されるボディ外装の天面と底面。加工メーカーとの密接な連携により、高強度を保ちつつ、ディテールにこだわった複雑なデザインが可能となりました。



広報誌バックナンバー

これまで鉄道、船、橋、缶、車などをテーマに特集を組んできました。QRコードを読み取ることで、バックナンバーをご覧いただけます。なお、定期送付ご希望の方は下記アドレスよりお申し込みください。

<https://www.nipponsteel.com/company/publications/quarterly-nipponsteel/index.html>